

総合教育会議の開催について

1 会議名、開催日時及び場所

- (1) 会議名 第23回墨田区総合教育会議
- (2) 日時 令和8年5月26日(火) 午後4時から午後4時53分まで
- (3) 場所 区議会第一委員会室(区役所17階)

2 出席者等

区分	出席者等
(1) 構成員 / 6名	区長、教育長、教育委員4名
(2) 区長部局 / 6名	副区長2名、企画経営室長、行政経営担当課長、政策担当課長、総務部長
(3) 教育委員会事務局 / 8名	教育委員会事務局次長、学校改築担当部長、庶務課長、学務課長、指導室長、すみだ教育研究所長、地域教育支援課長、ひきふね図書館長
(4) 協議事項の関連部 / 4名	福祉部長、地域福祉課長事務取扱福祉部参事、子ども・子育て支援部長、地域子育て課長
(5) 傍聴人 / 19名	一般7名、区議会議員12名

3 協議事項

- ・墨田区教育施策大綱(案)について

教育施策大綱(案)について、素案からの変更点の説明を踏まえ、意見交換を行うとともに、案の内容で決定することについて確認を行った。

4 会議での主な発言

区長	<ul style="list-style-type: none">・不確実性の高い時代、社会課題が多様化・複雑化する中においては、分野や枠組みを超えて、連携して対応していくことが重要と考えている。・子ども・子育て・教育についても、教育施策大綱、基本計画それぞれの施策をそれぞれで実施するのではなく、行政・地域・関係機関が互いに連携・協力して取り組み、子どもの健やかな育ちを支えていくことによって、すみだの子どもたちが、夢と希望を持ち、目標に向かって挑戦して、未来で大いに活躍していくことを願っている。・学校が子どもの成長、教育の基盤となるものであるが、親と子どもがしっかりと向き合うということも重要であると考えている。何か相談するにも親ではなく現代的なツールに頼るなど、親と子どもの関係性が若干変容しているようにも感じる。根本的・普遍的なものについて、我々もきちんと伝えていかなければならないと思う。
----	---

<p>区長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの倫理観が脅かされているというのは、非常に現代社会をとらえた言葉だと思う。心と体のバランスが取れた健全育成の中だけでなく様々な教育の場面で、人権を尊重する意識を念頭に行うということは非常に重要であると思う。 ・学校、教育委員会、区長部局、関係機関それぞれの権限を整理することが、学校で問題を抱えてしまうことを防ぐだけでなく、それぞれの連携を進めていくことにもつながると思う。 ・区の特性として、PTAや育成委員会、青少年委員など様々な地域の方々は非常に協力的であり、子どもたちの夢や希望につながる働きをしてくれる存在であるということがとても心強く思う。
<p>教育委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な事情を抱えた家庭・児童について必要な支援を届けるためには、小さな気づきが重要であるとお話ししたが、学校・児童館など子どもの居場所のそれぞれでとどめておくのではなく、情報を共有することが必要であると考えます。 ・子どもは学校・児童館それぞれで見せる表情や態度が異なることもあり、情報を共有し合えば、解決の方向性が見えてくることもあると思うので、ぜひ連絡調整も含めた連携を進めていただきたい。 ・多様な家庭環境や地域環境の変化、そういった課題に寄り添って、様々な施策を実施していただくことはもちろん重要だと思う。その上で、保護者が子どもと向き合っコミュニケーションをとることの重要性や、子どもを取り巻く周囲の様々な世代の大人たちが支えて育てていくという普遍的な価値観も重要であると考えます。 ・この教育大綱では、心を育てるということがよく示されていると思う。学力の向上の部分で、学習に係る方策の前に、自己有用感、自己肯定感の醸成といった、心の教育があることが非常によいと感じた。また、レジリエンス力についても非認知能力の部分に盛り込まれており、学力向上につながる基盤となるものと考えます。 ・現在、次の学習指導要領の論点整理が示されており、その中で、主体的対話的な深い学びをさらに重点化するという方針があり、メタ認知が重要だとされている。今回の大綱の案では、そういった部分も含まれているので、先進的であると思う。また、大綱では、さらに定着ということも盛り込まれているので、教育に重要な要素が網羅されていると思う。 ・教員の働き方改革について、教員を目指す学生は非常に熱心に勉強している。そういった学生が教育現場に就いたときに、働き続けることができる環境をぜひとも整備して行ってほしい。 ・この大綱案は、本質的な教育課題について、多岐にわたって簡潔だが具体的に示されており、非常に良いものだなと思う。 ・教員の働き方改革は、教員の資質向上にもつながるものだと思う。子どもによって先生とは、ある種憧れの的であったり、目指す方向性を示してくれる存在である。しかし、その教員が熱意や情熱を失って仕事をしなければならないといった状況は非常に問題であると思っている。ぜひとも教員の働き方改革を推進していただきたい。 ・児童・生徒がお互いの個性を理解して認め合うことが非常に重要である。人権教育については大綱には直接明示されていないが、根底に据えて教育を行ってほしいと考える。昨今、子どもの倫理観が脅かされていると感じるため、人権教育を根底に据えた教育が、子どもの倫理観を育むことにつながると思う。 ・関係機関との連携の部分で、学校で問題が発生した際、学校で全てを

教育委員会

- 抱えてしまうことがあるので、学校でできる権限を整理していくことが必要だと考える。学校でできること、できないことについては教育委員会事務局、区長部局で連携して対処していくことが必要である。
- 地域の方たちは学校に対して非常に協力的である。大綱では学校が中心となっているが、本来は家庭が人生の出発点であり、家庭教育の中で培った人間関係が、今度は学校で人とのつながりや軋轢や衝突の中で協力していくといった関係性に発展していく。また、家庭環境は様々なので、その補完として地域の方たちが関わっていただけていることで、大きな力となっている。
 - 今後とも区長部局、関係機関、保護者、地域ともいい関係を作って連携して、墨田区の子どもたちを社会に送り出して、その子どもたちが広く影響を与える存在になってほしいと願っている。

5 会議資料

- (1) 墨田区教育施策大綱（案） 資料1のとおり
- (2) 墨田区教育施策大綱（案）説明資料 資料2のとおり